

よりよく生きるために学び続ける子どもが育つ学校

I 学校経営ビジョン

1 教育理念

【互いの尊厳を守る学校づくり】

加速化する科学技術の発達によって、これからどんな社会になるか予測ができずソサエティ 5.0 と呼ばれている 21 世紀後半、この社会を生き抜く子どもたちが、よりよく生きるためには、生涯学び続けていくことが求められます。そして、そのための資質・能力を育むことは、今学校に与えられた使命と言えます。

この資質・能力を育むためには、学校は、個々の尊厳が守られ、安心して学ぶことができる場所とならなければならないことは言うまでもありません。子どもは皆、「伸びたい」と願っています。自らの尊厳が守られる環境の中で、主体的に学ぶことで、子どもは自ら資質・能力を伸ばしていきます。

そもそも、どんなに科学技術が発達し今より便利な生活が可能になったとしても、その社会は、誰もが自由に生きることができる社会でなくてはなりません。自由に生きるとは、欲するがままに振る舞うことではありません。一方的に自由を主張すれば周りとは衝突し、かえって自分の自由を失うこととなります。つまり、自由に生きるとは、互いの尊厳を認め合い守って生きていくことでもあります。

そこで本校では、学校づくりの理念に、「互いの尊厳を守る学校づくり」をおきます。人格の完成を目指す子どもたちには、だからこそ守られるべき大切な尊厳があります。

この理念の下では、教師自身の子どもの個に寄り添う姿勢が重要になってきます。個に寄り添うとは、子どもの前に立ちはだかる壁を取り除くことではなく、子どもの可能性を信じ、自らの力で壁を乗り越えていく力を培うための支援をすることです。まずは我々教師が、「聴く」姿勢を持ち、その子どもの願いや考え方、生き方に寄り添い尊重しながら、壁を乗り越えようとする子どもとともに歩みます。そうした我々教師の姿勢を示していくことで、教師も子どもも互いの尊厳を守る学校づくりを進めていきます。

2 めざす学校像

【授業を根幹とする学校】

「楽しかった。明日も学校に行きたいな。」子どもたちが学校生活を楽しいと感じることが学校教育の基本であると考えます。そのためには、子どもたちが自ら学ぼうとし、友と学ぶ良さを感じ、新しい経験につながる様々な事象に触れる学習の場を設定することが大切です。学校において、この学習の場のほとんどは授業の時間です。学校の役割は多様化していますが、授業づくりこそ学校づくりの根幹と考えています。

互いの尊厳を守る本校では、子どもたちの学びの尊厳も然りです。それには、一人一人が主体的に、友と関わりながら学びを深めていく「協働の学び」を授業の基本とします。

昨年度の取組では、コロナ下ではありましたが、先生方の工夫と努力により協働の学びへの取組が進められ、子どもたちも対話の良さを実感できるようになってきました。本年度も、自分の考えを持ち、対話を通して見返し、自分にとってより良い考えを創り上げていく協働の学びを実現することを通して、未知の状況において、よりよく生きるために学び続ける子どもを育みます。

新しい学習指導要領では、私たちの指導観の転換が迫られました。子どもの思い、願いに寄り添い、共に学んでいく姿勢を大切に、子どもの学びを支援していきます。

学校教育目標 自ら学ぶ・友と学ぶ・仁科の里に学ぶ

【教育理念】
互いの尊厳を守る学校

めざす教師像：児童に寄り添い、共に学ぶ教師

めざす学校像：授業を根幹とする学校

経営の概要

《学校づくりのねらい》

互いの尊厳を守る学校づくりと、自分の考えを持ち、対話によって見返し、より良い考えを創り上げていく「協働の学び」の実践を通して、よりよく生きるために学び続ける子どもを育成する。

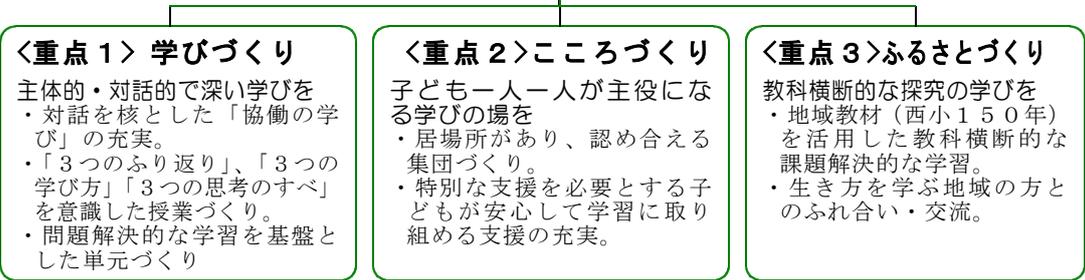
めざす子ども像

～よりよく生きるために学び続ける～

- ・進んで学ぶ子ども
- ・学び合い、高め合う子ども
- ・ふるさとを大切にす子ども

《教育課題と重点》

教育課題：自己調整学習力・自己有用感の育成



《教育システム》

- **自ら学び続ける子どもを育てる学びのシステム〔カリキュラム・マネジメント〕**
 - ・協働の学びを中核にしたカリキュラム。
 - ・問題解決的な学習を基盤とした教科横断的な視点で配列したカリキュラム。
 - ・諸調査やキャリアパスポート、学び直し学習等を生かしたPDSAサイクルの確立。
- **地域との協働システム（コミュニティ・スクール）**
 - ・学校運営協議会と協力しながら学校づくりを進め、めざす子ども像を共有しながら、保護者、地域の学校支援ボランティアと共に児童の学習を支える。
- **職員の研修システム**
 - ・ミッション探索カードを活用し、教職員が西小における使命と課題を明らかにする。
 - ・協働の学びを軸に、個人研究テーマを設定し、LC、一人一授業公開、授業づくり研修会、外部専門家の指導等に学びながら、授業力向上に取り組む。
 - ・自己の働き方を見直し、子どもと向き合う時間を確保しながらも自身が健康に過ごせるよう業務改善を進める。